第１２号様式別紙（第１２関係）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業実施年度 | ○○　　年度○○　　年度○○　　年度 |
| 被害防止計画 | 作成年度 | ○○　　年度 |
| 目標年度 | ○○　　年度 |

福島県鳥獣被害防止総合対策交付金事業評価報告

事業実施主体名：

市町村名：

事業実施地区：

Ⅰ　事業実施による効果

１　地域の体制整備状況

|  |
| --- |
|  |

２　被害防止の効果

|  |
| --- |
|  |

３　対象鳥獣の捕獲状況

|  |
| --- |
|  |

４　担い手等人材の育成状況

|  |
| --- |
|  |

５　耕作放棄地の発生防止及び解消状況

|  |
| --- |
|  |

６　近隣市町村との連携

|  |
| --- |
|  |

７　その他

|  |
| --- |
|  |

Ⅱ　被害防止計画の目標達成状況

１　事業の実施内容

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象地域 | 実施年度 | 対象鳥獣 | 事業内容 | 　事業量（回、ha、m、円、等） | 管理主体 | 供用開始 | 利用率稼動率 | 事業効果 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

　　注）事業内容は下記の（１）ア(ア)A ～（３）イ（イ）から、該当する記号を記し、これに合わせて他の欄も記載する。

　　　　（１）推進事業の内容

　　　　　　　ア 鳥獣被害防止総合支援事業

　　　　　　 　（ア）被害防止活動推進

　　　　　　　　　　　A 推進体制

　　　　　　 B 有害捕獲（狩猟免許の取得、有害捕獲の実施）

　　　　　　 C 被害防除（現場技術指導者の育成、被害防除の実施）

　　　　　　 D 生息環境管理

　　　　　　　　　　　E 広域柵の再編整備計画策定支援

　　　　　　 F サル複合対策

　　　　　　　　　　　G クマ複合対策

　　　　　　　　　　　H 鳥類複合対策

　　　　　　 I 他地域人材活用

　　　　　　 J ICT等新技術の活用

 K GISを活用した被害対策等の可視化定着支援

　　　　　　　　（イ）実施隊特定活動

　　　　　　 A 大規模緩衝帯整備

　　　　　　 B 誘導捕獲柵わな整備

　 （ウ）ICT等新技術実証

　 A ICT等新技術実証

　　　 （エ）農業者団体等民間団体被害防止活動

　 A 農業者団体等民間団体被害防止活動

　　　 （オ）ジビエ等の利用拡大に向けた地域の取組

　　　 （カ）鳥獣被害対策実施隊機能強化

A 鳥獣被害対策実施隊機能強化

　　　　　　　　（キ）捕獲サポート体制の構築

　　　　　　　　　　　A捕獲サポート体制の構築

 （ク）ICTの活用による情報管理の効率化

　　　　　　　　　　　A ICTの活用による情報管理の効率化

　　　　　　　　（ケ）放射性物質影響地域のジビエ利活用推進

　A 放射性物質影響地域のジビエ利活用推進

イ 鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業

　 （ア）緊急捕獲活動

　　　　（２）整備事業の内容

　　　　　　　ア　鳥獣被害防止総合支援事業

（ア） 鳥獣害防止施設の整備

（イ） 処理加工施設の整備

（ウ） 捕獲技術高度化施設

（エ） 地域提案施設の整備状況

イ　鳥獣被害防止施設整備促進支援事業

（ア） 鳥獣害防止施設の整備

　　　　　　　ウ　シカ特別対策事業

　　　　　　　　（ア） シカ緊急捕獲対策

　　　　　　　　（イ） シカ特別対策

　　　　（３）イノシシ等有害捕獲促進事業の内容

ア　イノシシ等有害捕獲

（ア）イノシシ等有害捕獲

イ 新技術を活用したイノシシ等有害捕獲

（ア）新技術を活用したイノシシ等有害捕獲

ウ イノシシ等被害防止施設等整備

（ア）鳥獣被害防止施設

２　被害防止計画の目標と実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象鳥獣 | 被害金額の目標達成状況 | 被害面積の目標達成状況 |
| 現状値(○年度)（万円）(A) | 目標値(○年度)（万円）(B) | 実績値(○年度)（万円）(C) | 達成率（％）((A-C)/(A-B)) | 現状値(○年度)（ha）(D) | 目標値(○年度)（ha）(E) | 実績値(○年度)（ha）(F) | 達成率（％）((D-F)/(D-E)) |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

　　注）現状値及び目標値の○年度は、被害防止計画の年度を記入すること。

　　　　実績値の○年度は、被害防止計画の目標年度を記入すること。

３　事業実施主体の評価

|  |
| --- |
|  |

４　学識経験者等第三者の意見

|  |
| --- |
|  |

　　注）　国実施要綱別記１の第６の１の（１）および別記６の第６の１に基づき、事業実施主体は、学識経験者等第三者の意見を聴いた上で、記入すること。

５　鳥獣被害防止施設等設置後の被害状況等について

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 整備地域 | 竣工年 月日  | 侵入防止柵の種類・設置距 離  | 事業費（円） |  交付金（円） | 被害金額（円） | 被害面積（m2） |  被害量（kg） |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 被害が生じた場合の要因と事業実施主体等が講じた対応策 | 設置にかかる指導内容 | 維持管理方法 | 維持管理状況 | その他 |    |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

注）１　被害金額、面積及び被害量についてⅡ１（３）被害防止計画の目標と実績と単

位が異なるため留意すること。

　　２　設置にかかる指導内容には被害防止施設設置時に行った指導内容について

記載すること。

　　３　維持管理方法には管理を行う者及び点検等の頻度について記載すること。

　　４　維持管理状況には点検等を実施した結果、施設の状況及び補修履歴等について記載すること。